

数学

京都大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**)

出題の特徴や昨年との変更点

例年と同様、誘導のための小問はない。

その他トピックス

2は文系**2**、**6**は文系**5**と共通。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法	数Ⅲ	2つのグラフの共有点がちょうど2個となる条件	標準
2	空間ベクトル	数C	正四面体の、ねじれの位置にある辺上の点の位置関係	標準
3	数列	数B	多項式の係数に関する証明	難
4	三角関数	数Ⅱ	1辺の長さが1の正方形を含む正三角形の1辺の長さの最小値	やや難
5	積分法	数Ⅲ	2曲線の囲む領域をx軸のまわりに1回転してできる立体の体積	やや難
6	確率・数列	数A 数B	数列の和として求める期待値	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

誘導されずに方針を立てる力、論理的でわかりやすい答案を作る力を養う。

難しめの問題で添削指導を受けることを勧めたい。